



発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2023年(令和5年)6月1日

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>



目 次

令和5年第1回定例会の議決結果	②～③
委員会審査	④～⑤
一般質問	⑥～⑪
令和5年度当初予算・ 令和4年度補正予算審査	⑫～⑯
管内視察〈新公立保育所「中央保育所」〉	⑭
管内視察 〈うずしあロマンチック海道彫刻公園〉	⑮
議案第28号の撤回について	⑯
令和5年第2回定例会の予定、ご意見箱	⑯

より身近な議会を目指して
議員が議会広報番組に出演!!



令和5年5月1日放送回から、議会広報番組～ようこそ！鳴門市議会へ～に
議長・副議長・議会広報委員が出演することになりました。

No. 123

《令和5年第1回定例会の議決結果》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第1号	専決処分の承認について（令和4年度鳴門市一般会計補正予算（第7号））	承 認	
議案第2号	令和5年度鳴門市一般会計予算		
議案第3号	令和5年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第4号	令和5年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第5号	令和5年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第6号	令和5年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第7号	令和5年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第8号	令和5年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第9号	令和5年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第10号	令和5年度鳴門市モーター・ボート競走事業会計予算	原案可決	予算決算
議案第11号	令和5年度鳴門市下水道事業会計予算		
議案第29号	令和4年度鳴門市一般会計補正予算（第8号）		
議案第30号	令和4年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第31号	令和4年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
議案第32号	令和4年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第33号	令和4年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第34号	令和4年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第35号	令和4年度鳴門市水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第12号	鳴門市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について		
議案第13号	鳴門市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について		
議案第14号	鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について		
議案第15号	鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について		
議案第16号	鳴門市特別職指定条例の一部改正について		
議案第17号	鳴門市職員定数条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		
議案第19号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について		
議案第20号	鳴門市道の駅「くるくる なると」基金条例の制定について		
議案第27号	財産の無償譲渡について		

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第21号	鳴門市手数料徴収条例の一部改正について		
議案第22号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第23号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第24号	鳴門市立保育所条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第25号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		
議案第26号	鳴門市うずっ子条例の制定について		
議案第28号	市道路線の一部廃止について	原案可決	産業建設
報告第1号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	産業建設
発議第1号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第2号	鳴門市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決	
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

人事案件

●固定資産評価審査委員会委員

たまい きょうこ
玉井 京子 氏 (撫養町)

はら 原 たかひと
孝仁 氏 (鳴門町)

もりきた のぶとし
森北 伸年 氏 (大麻町)

●人権擁護委員

なかの こういち
中野 幸一 氏 (瀬戸町)

はやし 林 きょうこ
恭子 氏 (撫養町)



本会議の傍聴をご希望の方は

◆傍聴のご案内◆

受付で、氏名・住所・年齢を
ご記入ください。傍聴券をお
渡しし、ご案内します。



委員会の傍聴をご希望の方は



※ご不明な場合は、1階の総合案内にお問い合わせください。

総務文教委員会

●議案第17号

鳴門市職員定数条例の一部改正について

職員定数と実数に乖離が生じてることおよび消防組織の充実強化を図ることから、所要の改正を行うもの。

【質疑】消防職員の定数を76人から85人に増やす理由は。

【答弁】高齢化に伴う救急件数の増加や、激甚化する自然災害、切迫する大規模地震などに対する消防需要に的確に対応するため、また、現在、2交代制で行つている勤務体制を3交代制へ移行させ平時の消防サービスの向上も含め、消防体制のさらなる充実強化を図るため、定数を増やす。



生活福祉委員会

●議案第21号

鳴門市手数料徴収条例の一部改正について

コンビニエンスストアでの証明書交付サービスの手数料を引き下げるため、所要の改正を行うもの。

【質疑】各証明書交付方法の利用割合は。

【答弁】令和4年度の証明書発行のうち、コンビニで発行可能な証明書の令和5年1月末時点の交付割合は、市役所窓口が74.6%、郵便局が1.1%、コンビニ・府内キオスク端末が24.3%である。

【意見】市民全員への配慮が必要であるため、現時点で利用率の最も高い市役所窓口での交付についても市民の負担が軽減されるよう手数料を減額するべきである。



府内キオスク端末（市民課）

- 【質疑】消防職員の定数を76人から85人とする根拠は。
- 【答弁】勤務体制を現在の2交代制から3交代制へ移行させるために必要な職員数を試算したところ81名程度が必要となる。
- 【質疑】類似団体と比較して職員数はどうになっているのか。
- 【答弁】類似団体との比較では、職員数が少ない部門と多い部門とで隔たりがある。

産業建設委員会

議案第28号

市道路線の一部廃止について

市道三津大須線の一部廃止を行うにあたり、議会の議決を求めるもの。

【質疑】 市道三津大須線を一部廃止するに至った経緯は。

【答弁】 落石対策が必要であることや廃止予定区間に設置されているオブジェが通行を阻害する恐れがあることなどで警察から対策を求められたことのほか、廃止予定区間を維持するためにはガードレールの修繕や道路の改善に相当な費用を要することなどから、総合的に判断して廃止するに至つた。



市道三津大須線のガードレール

予算決算委員会

議案第2号

令和5年度鳴門市一般会計予算

新庁舎整備に加え、各種手続きの「デジタル化・オンライン化」に関する予算を計上するとともに、「なるとまる」と「子育て応援パッケージ」の更なる拡充や、「なるとうずつ子 学力向上パッケージ」の創設など、「あらたななると」を創るために必要となる施策に重点を置いた予算となつてている。

【質疑】

令和5年度一般会計当初予算における市債の予算額が51億6830万円と、令和4年度一般会計当初予算と比較して18・4%増加している理由は。

【答弁】

令和5年度は新庁舎整備事業に係る新庁舎建設事業債が35億6320万円となつており、前年度と比較すると、16億7300万円あまり増加したことが大きな要因となつている。



【質疑】 令和3年度決算に基づく実質公債費比率は、12・5%となっているが、令和5年度決算時点ではどの程度を見込んでいるのか。

【答弁】 現時点での試算値で11・6%と見込んでいる。

一般質問

代表質問

① 東 正昇(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 令和5年度当初予算について
- (2) 広域行政について

2. 福祉行政について

- (1) 新公立保育所について



④ 宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 観光行政について

- (1) 鳴門市阿波おどり及び納涼花火大会について

2. モーターボート競走事業について

- (1) 経営状況について
- (2) 徳島支部所属の選手について

3. 人口問題について

- (1) 人口減少について
- (2) 定住人口の確保について
- (3) 交流人口の増加について

② 三津 良裕(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 財政状況について
- (2) 行財政改革について
- (3) 特別会計について

2. 広域行政について

- (1) 広域行政の推進について

⑤ 前田ナツ子(会派 公明党)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 母子保健事業について

2. 教育行政について

- (1) 特別支援事業について



③ 梶 達矢(会派 ナルト地方創生会)

1. 教育行政について

- (1) 公立高等学校の通学区域制について

2. デジタル行政について

- (1) DXの推進について

3. 観光行政について

- (1) 観光振興施策について

⑥ 潮崎 憲司(会派 未来)

1. サイクリング事業について

- (1) サイクリング事業の現状と今後について

2. 危機管理について

- (1) 災害時の情報伝達手段について



令和5年度当初予算



会派
東 あずま
正昇 まさのり

令和5年度は新庁舎整備事業の最終年度となることから、一般会計の予算総額が293億4000万円と、過去最大となっている。

重点を置いた事業・施策について
は、本市では、県内随一の子育て応援都市を目指し、令和4年度から令和7年度までの4年間を子育て世帯定住促進施策の集中実施期間と位置づけ、各ライフステージの子育て世帯を包括的に支援する「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」に取り組んでいる。当事業の令和5年

答 令和5年度当初予算は、第7次総合計画に掲げる本市が目指す将来都市像「ひとが輝き持続可能な未来をひらくあらたななると」の実現に必要な施策に重点を置いて編成した。

令和5年度は新庁舎整備事業の最終年度となることから、一般会計の予算総額が293億4000万円と、過去最大となっている。

問 令和5年度の当初予算の方針とその特徴は。また、重点を置いた事業・施策は。

答 平成31年4月に策定した公立保育所再編計画で示したとおり、研修機能や子育て支援機能を有し、人権保育を推進する家庭支援推進保育士を配置するとともに、障がい児など支援が必要な児童の受け入れや乳児保育、休日保育、延長保育を実施するなど、本市の就学前教育・保育に関するさまざまな課題に積極的に対応することでの、中核的役割を担うこと

問 新公立保育所の設置理念や特徴は。

答 平成31年4月に策定した公立保育所再編計画で示したとおり、研修機能や子育て支援機能を有し、人権保育を推進する家庭支援推進保育士を配置するとともに、障がい児など支援が必要な児童の受け入れや乳児保育、休日保育、延長保育を実施するなど、本市の就学前教育・保育に関するさまざまな課題に積極的に対応することでの、中核的役割を担うこと

令和5年4月開所 新公立保育所



新公立保育所「中央保育所」

施設の特徴としては、バリアフリーへの配慮をはじめ、一時保育や休日保育、病児保育のための居室を設けるなど、さまざまな機能を備えて

度の予算額は、前年度の約2倍の約3億2500万円としている。

一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「もっと議会を知りたい」に記載の方法でご覧ください》(議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています)



会派 創心クラブ
三津 良裕

委託事業の現状

問 委託事業の随意契約の状況や委託先の選定方法は。

答 令和3年度の委託事業は115件、総額約26億6200万円。そのうち、随意契約によるものは1068件、総額約22億600万円。委託事業のうち随意契約が金額ベースで約83%を占めている。

予定価格が50万円を超えるものは、原則、一般競争入札や指名競争入札により委託先を選定。予定価格が50万円以下の中には、法令などにより、随意契約できるため、競争性が確保できる見積もり合わせなどで委託先を選定。また、予定価格が50万円を超える場合でも、競争入札に適しないもの、緊急の必要により競争入札によれないもの、競争入札に約できる。価格だけでなく総合的な評価で選定する方が望ましい場合も、プロポーザル方式で随意契約する場合もある。



市町村の垣根を越えた公共交通を

広域行政の現状

問 病院、鉄道、バスの広域行政の現状は。

答 病院については、一般的な疾病や外傷などに対処する診療時間外の初期救急医療体制として、鳴門市医師会の協力で夜間・休日当番医制を実施。重篤な救急患者は、徳島県の東部II次救急医療圏において、鳴門病院や徳島医療センターなどで診療。2次救急医療で対処が困難な場合は、3次救急医療体制として県立中央病院や徳島赤十字病院などの救命救急センターが受け入れる。

鉄道については、JR鳴門線に関する意見交換会の開催など、鉄道路線の活用の機運醸成に努めている。バス路線の広域連携については、徳島県生活交通協議会ワーキング部会でバス会社や市町村間で情報共有・意見交換を実施している。地域間交流の基盤となる公共交通体系の整備に努める。



会派 ナルト
梶 達矢

学区制の現状

問 今後の鳴門市の発展を大きく左右する学区制の現状は。

答 鳴門市内の受験生にとって不公平な仕組みとなっている。子どもの高校進学前に本市から転出する世帯もあり、人口流出の一因となっている。まちづくりの観点からも憂慮すべき課題である。市民の関心も高く、改善や廃止を求める声が多い。

これを受け、3月19日に学区制について考えるシンポジウムを開催する。当日は、現状報告の後、関係者による座談会で意見交換を行い、学区制廃止に向けた機運醸成を図る。本市の子どもたちにとって真に公平な入試制度の実現に向けて、県において学区制の将来的なあり方が検討される時期までに、学区制の廃止を強く働きかけていきたい。

答 令和5年度は、①市内の観光客への新たな取り組みを支援するほか、②本市の観光フリー素材集を制作・公開し、テレビや雑誌、SNSなどの媒体への掲載促進を図るとともに、③インフルエンサーを活用した情報発信を行い、本市の認知度向上につなげ、さらなる観光誘客に取り組む。

また、大鳴門橋自転車道整備の事業着手が発表されていることや、県がサイクリングコースの新設、鳴門スカイラインの魅力向上に向けた検討に着手することを受け、本市においても、シェアサイクルの導入検討を行うなど、新たな取組みをスタートする。



会派 ナルト
梶 達矢

新たな観光振興策

問 アフターコロナに向け、本市の経



大鳴門橋の桁下空間を活用した自転車道の整備

一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「もっと議会を知りたい」に記載の方法でご覧ください》

(議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています)



会派 平成なると
たくかわ やすじ
宅川 靖次

4年ぶりの開催 阿波おどり・花火大会

問 今年の阿波おどりと花火大会の進捗状況は。

答 国の方針など、さまざまなかつ状況を踏まえ、安全・安心に楽しんでいただけるよう、鳴門阿波おどり実行委員会を構成する鳴門商工會議所、鳴門市うずしお観光協会、鳴門市の主催者3者で、3月上旬に協議を行い方向性を決定する。



約21億5800万円の売上げ。イベントの開催については、3月26日にウズホールにおいて小学生のボルダリングの全国大会と東京オリンピック銅メダリストの野口啓代さんによる初心者教室を開催する。今後も中央団体の支援などを活用しながら、さらなるボートレースのイメージアップやファンサービス、地域貢献、業界が推進するボートレースパーク化につながり、県内外から多くの方々に来場いただけるイベントを企画・実施したい。

深刻化する人口問題

問 定住人口の確保と交流人口の拡大に向けての方策は。

答 なると未来づくり総合戦略2020に掲げる人口減少対策に資する各種事業の積極的かつ包括的な推進により、定住人口の確保を図るとともに、新たなまちづくりの基本方針となる第七次鳴門市総合計画に掲げる各施策の展開を通して交流人口の拡大、さらには本市が目指す将来都市像である「ひとが輝き持続可能な未来をひらくあらたなる」との実現を図っていく。



会派 公明党
まえだなつこ
前田ナツ子

リトルベビーハンドブック導入の推進を

問 厚労省の統計によると、2019年に誕生した新生児の10人に1人が2500グラム未満の低出生体重児として出生している。低出生体重児の現状とその支援は。また、低出生体重児の成長を記録できるリトルベビーハンドブックの導入についての考えは。

答 本市における低出生体重児の出生は、年間20人前後。妊婦健診の結果や医療機関からの情報提供などにより支援対象者の状況を把握した上で、新生児訪問などにおいて、きめ細やかな個別の保健指導を行っている。リトルベビーハンドブックの活用は、不安を抱える保護者にとっての心の支えになると考えられる。今後、リトルベビーハンドブックの果たす役割などについて調査研究を行うとともに、市長会などを通じて県に対しても、要望活動を行っていきた

問 昨年のお盆レースと今年の正月レースの売上げ状況は。また、今後のイベントなどの開催や方向性は。

答 お盆レースの第55回渦王杯競走は、合計約13億7700万円、正月レースの第49回松竹杯競走は、合計

問 具体的な数字は把握していないが、発達障がいが疑われる児童・生徒が一定程度通常学級に在籍していると認識している。学級担任などが保護者との相談のもと、子どもの状態に応じた個別の配慮を行つていい。

導を活用し、学級や学校全体で学びやすい環境づくりに努めている。



しづおか リトルベビーハンドブック
(静岡県)

一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「もっと議会を知りたい」に記載の方法でご覧ください》

(議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています)

実施、無料休憩所の整備など、民間団体が主体となつたサイクルツーリズムの取り組みも図られている。今後も、関係団



年会議所によるサイクリングイベントの実施、無料休憩所の整備など、民間団体が主体となつたサイクルツーリズムの取り組みも図られている。今後も、関係団

答これまで、ASAトライアングル交流圏推進協議会の構成自治体の3市が連携し、各種事業を実施してきた。こうした行政主体の取り組みを進める中、昨年度には大鳴門橋自転車道の早期実現に関するPR活動を行う大鳴門橋自転車道実現協議会の設置のほか、(一社)鳴門板野青年会議所によるサイクリングイベントの

開業から約5年が経過したサイクリング事業については、国の交付金などを活用し、多額の費用をかけ取り組んできた。その現状や今後の見通しは。

答これまで、ASAトライアングル交流圏推進協議会の構成自治体の3市が連携し、各種事業を実施してきた。こうした行政主体の取り組みを進める中、昨年度には大鳴門橋自転車道の早期実現に関するPR活動を行う大鳴門橋自転車道実現協議会の設置のほか、(一社)鳴門板野青年会議所によるサイクリングイベントの

開始から5年

サイクリング事業の現状



会派 未来

潮崎 憲司

体と連携し、新たなサイクリングコースの検討やブルーラインの敷設、レンタル・シェアサイクル施設の検討など、サイクリストの受入環境の充実により一層努めていく。

災害時の生死をわかる情報の重要性

問保育施設や学校施設での緊急地震速報などの情報伝達については、職員室などに設置されている防災行政無線の戸別受信機などで情報を入手した職員が、館内放送設備などを通じてその情報を流すこととなつている。これには、タイムラグの発生や職員室に職員がない場合の対応が懸念される。人の手を介さずにリアルタイムで館内放送できるシステムの導入の進捗状況は。

答戸別受信機が緊急情報を受信すると同時に校内放送が流れるシステムの導入には多額の費用が見込まれるため、導入には至っていない。

現在、鳴門市地震津波対策推進計画の改定を進めているところであり、その中で新たな取り組みの一つとして、このシステムの導入を位置づけ、優先度に応じた検討を行う。

個人質問

①八木 亨

1. 市営住宅について

- (1) 市営住宅の現状と今後の対応について

2. 環境行政について

- (1) 悪臭問題について



②長濱 賢一

1. 人口減少対策について

- (1) なると未来づくり総合戦略2020について
- (2) なるとまるごと子育て応援パッケージについて
- (3) 令和5年度当初予算案について



③小西 努

1. 移住起業アカデミー事業について

- (1) オンライン講座について
- (2) 短期移住起業合宿について

2. 活力あふれるまちづくりについて

- (1) なると満喫アクティビティ事業について



④上田 公司

1. 子育て支援について

- (1) 子育てしやすい環境づくりについて
- (2) 食育について

2. 個人情報保護について

- (1) セキュリティ対策について
- (2) マイナンバーについて

3. 観光支援について

- (1) 移住手段の確保について

議会広報番組

議会広報番組は、年4回(定例会後)にテレビ鳴門で放送しています。

〈放送内容・放送日〉

- 第1回定例会の模様(毎年5月1日～15日)期間中毎日放送
- 第2回定例会の模様(毎年8月1日～15日)期間中毎日放送
- 第3回定例会の模様(毎年12月1日～15日)期間中毎日放送
- 第4回定例会の模様(毎年2月1日～15日)期間中毎日放送

〈放送時間〉

デジタル111ch(8:00～/13:00～/23:00～)

デジタル122ch(7:00～/12:00～/16:00～/18:00～/21:00～/22:00～)

※生放送・特別番組により放送されない場合があります。



一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「もっと議会を知りたい」に記載の方法でご覧ください》(議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています)



八木 亨
(平成なると)

市営住宅 入居者の安全確保を

問 コロナ感染も収束しつつあるが、海外ではトルコ・シリア地震が発生し大きな被害が出ており大変な状況となっている。南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、本市の市営住宅は老朽化が進んでおり、耐震補強ができるいない市営住宅へ入居している方もたくさんいるのが現状である。現在、市内に市営住宅が何か所あり、入居者は何人ぐらいいるのか。また、入居者をどう守っていくのか。

答 令和5年1月末現在、管理する団地数は28団地、管理戸数は823戸、うち464戸が入居している。

そのうち、集合団地の矢倉団地、桑島第2団地、明神第2団地、高島団地の4団地420戸と、身体障がい者用団地のある立岩第2団地、川崎第2団地の2団地3戸については、耐震性を有する維持管理住宅となっている。そのほか、耐用年数を経過した立岩第2団地26戸、市場団地52



用途廃止住宅は、維持管理住宅や民間賃貸住宅などへの住み替えの勧奨に努める。

維持管理住宅は、長寿命化対策などで適切な居住水準の確保を図りつつ維持管理を行う。

建替住宅は、入居者の状況など、総合的な観点から集約化などについて検討を行うとともに、施設管理については、日常の点検に努め計画的な修繕を実施する。

本市の人口は、現状のまま推移すると、鳴門市人口ビジョン2020で目標とする2040年の

人口4万5000人を大きく下回り、4万1000人程度となる。危機的な本市の少子化・人口減少を改善するために策定された、なると未来づくり総合戦略2020の現状や課題は。

問 本市の人口は、現状のまま推移すると、鳴門市人口ビジョン2020で目標とする2040年の人口4万5000人を大きく下回り、4万1000人程度となる。危機的な本市の少子化・人口減少を改善するために策定された、なると未来づくり総合戦略2020の現状や課題は。

答 出生数はコロナ禍で減少、社会増減人口は直近5年間の平均で297人減であったが、令和4年は86人減と、転出超過の状況が改善された。



なると未来づくり
総合戦略2020



長濱 賢一

人口減少・少子化問題

問 出生数に影響する15～49歳の女性人口の推移や不妊治療費助成事業

要望 少子化・人口減少対策を本市の町ごとに検証する必要がある。また、重要施策の現状や課題、進捗状況、PDCAサイクルの状況などについて、地域経済分析システム「RESAS」を活用し、施策の見える化をさらに推進するよう要望する。

答 15～49歳の女性人口は、平成27年10月時点で1万1389人、令和5年1月時点で9204人と減少。本市の不妊治療費助成により年平均約15人が出生している。

婚活支援事業は、平成27年度から民間事業者による出会いの場の機会創出イベントの開催を地域婚活支援事業補助金により支援し、これまでに45組のカップルが成立。

なるとまるごと子育て応援パッケージ事業については、結婚新生活支援補助金事業の対象者の所得要件を緩和するなど、各ライフステージの子育て世帯を全24事業で包括的かつ強力に支援することとしており、令和5年度の予算総額は、前年度当初予算額と比較して約2倍の約3億2500万円とした。

一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「もっと議会を知りたい」に記載の方法でご覧ください》

(議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています)

問 活力あふれるまちづくりを行つたために、なると満喫アクティビティ事業をどう展開していくのか。

チャンスを活かした 観光の発展



起業準備している方への支援についても行っている。

移住起業アカデミー事業の内容や意義、展望は。

中から創業プレゼンテーションにより6人を選抜、1週間程度の短期移住起業合宿を開催するもの。本事業を通じて本市での移住交流や起業の促進、社会起業家の育成により、地域イノベーションの創出や地域活性化につなげていく。また、既に本市

移住起業アカデミー事業の内容や意義、展望は。

丁寧な支援 移住起業アカデミー



答 每年のように県市長会から県知事に対し拡充を要望しており、県による助成対象の拡充が行われれば実施に向け検討する。

成長期における健康に 配慮した学校給食を

特別栽培農産物や有機食材を使った学校給食について、月一回のモデル的な実施など、前向きに検討することを提案するが、市の考えは。

答 学校給食での特別栽培農産物などの活用については、地域での生産品目や量、価格、加工品の開発状況

答 每年のように県市長会から県知事に対し拡充を要望しており、県による助成対象の拡充が行われれば実施に向け検討する。

高校卒業までの医療費無料化を実施していないのは県下で鳴門市を含め2自治体。県は要請があれば前向きに検討したいとしていることから、実現に向けた前向きな協議を提案するが、市の考えは。

問 昨年、学校給食の段階的な無償化を提案したが、今回中学3年生限りながら無償化が実現できた。一方、高校卒業までの医療費無料化を実施

医療費の無償化



答 新たな観光資源 DMVの活用

問 新たな観光資源として、DMVを走らせるうこと（列車モードで池谷駅→鳴門駅間、バスモードで鳴門駅→鳴門公園間）についての市の考えは。また、大塚国際美術館が運行しているシャトルバスを渦之道との連絡に活かせないのか。

答 本市でのDMVの運行にはさらなる技術開発などが必要だが、乗換不要のバス・鉄道の双方利用による利便性向上や、観光客による賑わい創出などの効果が大きく期待できるため、調査研究に取り組みたい。また、シャトルバスの鳴門公園への乗り入れについては、国の許可を得る必要があるが、鳴門公園周辺の回遊性向上などに繋がると考える。

■市の予算の使い道について審査しました■

6日間にわたり、予算決算委員会を開催し、令和5年度当初予算・令和4年度補正予算に関する議案18件について審査しました。

《■：質疑　●：答弁　★：意見》

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

教育

【教 育】

- A1ドリル導入事業について、A1ドリルとはどのようなものか。
- タブレット端末にインストールするソフトで、ドリル学習の

解答内容から間違いの原因をA1が解析し、誤答の原因と推定される単元に誘導するなど、最適な学習を行うのを助ける教材である。学習できる教科は、小学校1～2年生は国語と算数の2教科、小学校3～4年生は、国語、算数、理科、社会の4教科、小学校5年生～中学校3年生は国語、算数（数学）、理科、社会、英語の5教科である。

- A1ドリル導入に係る金額は。
- 予算の全額がドリル代で、1人あたりの金額は小学校低学年は月額300円程度、年間3,600円程度、小学校中学年～中学3年生は、月額450円程度、年額5,400円程度を想定している。

* * *

- 新1年生ランドセル無償化事業の概要は。

- 令和6年度の小学校新入学児童のうち、希望者にランドセルに代わる通学用の軽量リュックサックを無償配布することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。



- 配布する軽量リュックサックはいくらのものを予定しているのか。

- 1個あたり1万5,000円程度のものを予定している。

- 軽量リュックサックの色は選べるのか。

- 現在のところ、色を選べるようにしたいと考えている。

- 軽量リュックサックで通学する児童が少数派となった場合、心のケアが必要となる可能性があるが、その対応は。

- 初めての取り組みで軽量リュックサックの利用割合がどうなるのか分からぬが、多くの児童に利用いただき、軽量リュックサックを使う児童が少人数にならないように進めたいと考えている。



観光

【觀 光】

- 大阪・関西万博に向けた観光客受入環境推進事業はどのような事業なのか。
- 2025年の大阪・関西万博の開催を契機とした国内外からの

観光客受入整備や新たな観光誘客を促進するための事業である。市内に本店または事業所を有する宿泊施設、観光施設、土産物小売店を経営する法人または個人を補助対象とし、販促ポスター印刷や翻訳機器の購入などに対しては補助率2分の1で上限10万円を30件、商談会の出展やPR動画制作など積極的な投資が必要なものに対しては、補助率3分の2で上限20万円を20件予定している。

* * *

- なると満喫アクティビティ事業の具体的な内容は。

- 鳴門ならではの魅力を有効活用したアクティビティを地域の事業者などと連携し、観光コンテンツとして磨き上げ、ポストコロナを見据えた持続可能な環境づくりを進めることであり、具体的には、アクティビティに特化したサイトの整備やシェアサイクルなどの新しい交通手段の導入を検討するなど、交通利便性の確保により、大鳴門橋自転車道の開通に向けた環境整備と気運の醸成を図っていく。



(13ページへつづく)

健康・福祉

【健 康】

- 介護予防DX推進事業の概要是。
- 医療保険・介護保険・介護予防事業などのデータを活用し、介護予防事業の効果検証や本市

の高齢者の特性・課題の分析を行い、分析結果やエビデンスに基づく介護予防事業などを展開することにより、健康寿命の延伸を図る。

【福 祉】

- 新生児出産祝い金事業の概要は。
- 子どもが生まれた家庭に対し経済的な支援を実施することで、子どもを産み育てるに対する負担感を軽減し、少子化の改善、子育て世代の定住促進につなげるため、新生児1人あたり10万円の新生児出産祝い金を支給する。出産・子育て応援交付金と合わせると合計20万円の支給となる。

■新生児出産祝い金事業2,500万円の財源は。

- すべて一般財源。

★合計特殊出生率が低調に推移している現状を考えると、2人目以降を出産した世帯に対しては祝い金の額を上乗せすべきだと考える。



* * *

■保育所等使用済みおむつ処分支援事業の概要は。

- 市内保育所・認定こども園での使用済みおむつの処分について、施設での処分を促進する補助制度を創設し、保護者・職員の負担や感染症などの衛生上のリスクの軽減を図る。



■第2子・2歳児保育料無償化事業の概要は。

- 認可保育所・認定こども園の保育料について、世帯の所得階層や兄姉の年齢にかかわらず、第2子以降の無償化を継続するとともに、新たに第1子の2歳児の保育料を無償化する。

市民生活

【道 路】

- 橋梁長寿命化事業の概要と今後の予定は。
- 今後老朽化する橋梁の増大に対応するため、橋梁の延命化を図るための事業である。道路法

施行規則により2メートル以上の橋梁については、5年に1度点検することとなっており、令和3年度末時点で66橋が早急な対応が必要とされている。このうち、令和4年度に17橋の工事を行い、残り49橋も計画的に実施予定で、令和5年度は16橋の設計を行い、15橋の工事を行う予定としている。

* * *

- トリプルR事業の概要と市民からの要望への対応は。

●道路の舗装が経年劣化などにより更新時期を迎えるため、適正な維持管理を行い、道路の安全性と快適性を確保する目的で実施しており、道路修繕計画に基づく舗装修繕補修費、道路担当者会議に基づく舗装補修費、緊急を要する舗装補修費を計上している。平成29年4月から令和4年9月までに舗装要望が468件あり、227件完了している。道路担当者会議で検討した結果、未完了のもののうち、16件の舗装修繕工事を令和5年度に行う予定としている。



【生 活】

■なると新婚世帯家賃補助金の令和4年度と令和5年度の違いは。

- 所得要件を従前の400万円未満から500万円未満に変更している。



【水 道】

■水道管布設替工事について、管路の老朽化と耐震性の対策が必要とされるが、どのくらい更新しているのか。

- 管路の重要性、耐用年数や腐食しやすい土壌など地形的要因などを考慮し優先度をつけ老朽管の更新を行っている。更新率を年間1.5%引き上げることを目標とし、年間約8億円程度の予算を予定している。

■水道管の老朽化や耐震化の状況は。

- 令和4年3月末現在、法定耐用年数を経過した老朽管率は約44.1%で、全管路の平均耐震化率は約22%である。

■水道管布設替えに対する国の補助はあるのか。

- 管路の重要性や経過年数、防災拠点への供給などの条件により補助が細分化されており、実情に応じて適用可能な制度を利用している。



(14ページへつづく)

その他

【消 防】

- Net119緊急通報システムの登録者数は。
- 現時点（令和5年3月7日）で29人が登録。
- 鳴門市消防団の定員と実人数、これからの課題は。

●条例で定められている定員は910人。実際の人数は、令和4年4月1日現在で895人。団員数の減少、社会経済情勢の変化など、消防団が置かれている環境は大きく変化している。消防団の再編なども含め、今後の人ロ減少を踏まえた対応を検討していく。



【財 政】

- 令和3年度末の基金残高はおよそ91億4,000万円であったが、令和5年度末の見込みは。
- 令和4年度策定の「シン・スーパー改革プラン」では令和5年度末基金残高として、81億7,700万円を見込んでいる。

【ス ポ ウ ツ】

- スポーツ大会・合宿の誘致実績は。
- 令和3年度は6件を誘致し776人が参加。令和4年度はTリーグの誘致に成功し、来場者数が大幅に増え、現時点で9件を誘致、2,939人が参加。
- ★アフターコロナを迎えるにあたり、各種スポーツ団体と密に連携をとり現場の声を反映してより一層推進してほしい。



【動物愛護】

- いぬねこ愛護推進事業の概要は。補助頭数は。
- 動物の愛護管理についての理解を深め、公衆衛生の向上、社会生活の安全を図ることを目的に、徳島県獣医師会に委託して、飼い犬・猫の避妊・去勢手術費用の一部を助成するものである。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金については、近年問い合わせが非常に多くなっており、1頭1万円を上限として補助するもので、事業が開始された令和2年度の予算が50万円、令和3年度が70万円、令和4年度が100万円で、令和5年度は120万円である。

管内視察〈新公立保育所「中央保育所」〉



令和5年度より開設される新公立保育所「中央保育所」が完成したことを受け、3月7日に生活福祉委員会で現地視察を行いました。

保育室をはじめとする各部屋の入り口に設置されている表示板を公立保育所の保育士がデザインするなど、ぬくもりを感じることができる施設となっていました。



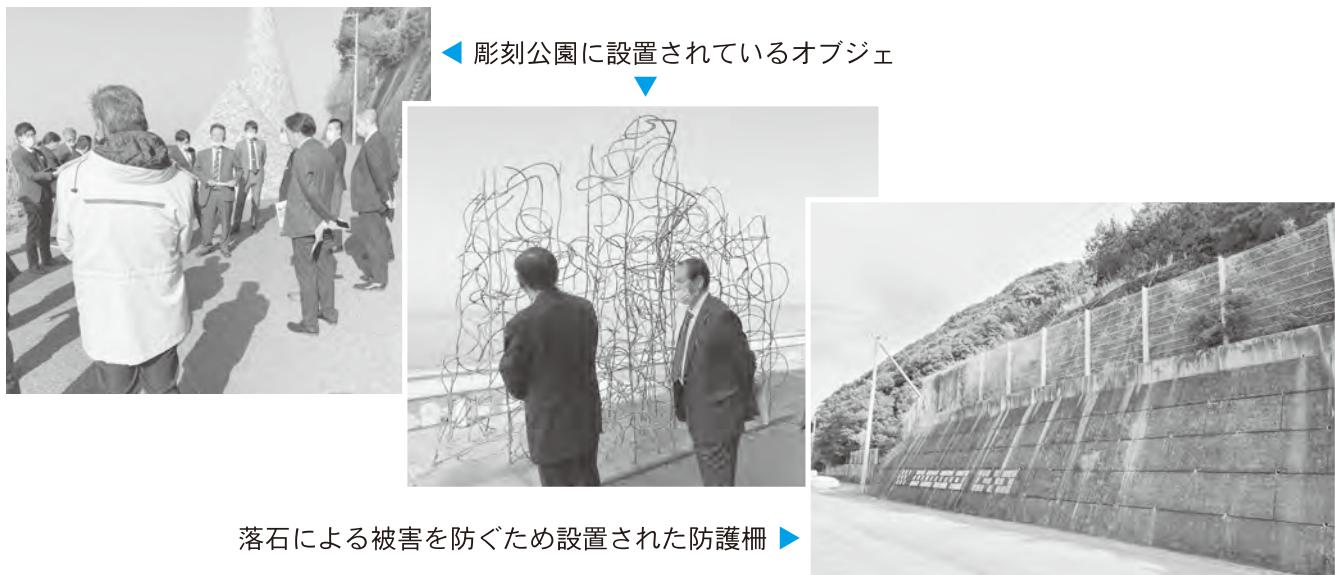
各委員は、施設の説明を受けるとともに、乳幼児が生活する上で危険な箇所はないかなど、熱心に施設の確認を行っていました



管内視察 くうしおロマンチック海道 彫刻公園

令和5年第1回定例会において産業建設委員会に付託された議案第28号「市道路線の一部廃止について」の対象路線である三津大須線の「くうしおロマンチック海道 彫刻公園」の現状について確認するため、3月7日に現地視察を行いました。

現地では、オブジェの状況やガードレールの劣化の状況、車両の通行状況、山の斜面からの落石の危険性などを確認しました。



「議案第28号 市道路線の一部廃止について」の撤回について

産業建設委員会での議案審査・現地視察の後、市長より本議案を撤回したいとの申し出があり、議案の撤回について本会議で反対討論の後に採決を行いましたが、賛成少数により承認されませんでした。

撤回が承認されなかつたことを受け、「議案第28号 市道路線の一部廃止について」を本会議において採決したところ、賛成多数により原案のとおり可決されました。

【撤回理由】

本議案の提出にあたり、あらかじめ市民に対して説明を行っていたが、市民の理解が広がっておらず、市の説明が不十分であったと判断したため。



【反対討論】

地元住民の要望を受け、オブジェを残すかどうかを話し合うために議案を撤回するというのであれば賛同の余地もあるが、市道廃止の有無に関わらずオブジェを撤去すると決めているのであれば、議案を撤回することに何の意味があるのか理解できない。

地元住民から請願書や陳情書などでの反対の意思表示もなく、市長自身も反対意見の詳細を十分に把握できておらず、また、明確な撤回の判断基準を示せないにも関わらず、委員会での審査が終了した後に議案を撤回すると判断したことは、議会軽視と言われても仕方がない。

議案の撤回とは……議案提出者からの申し出により、当初から議案を提出しなかったことと同様の状態にするもの。

議案を撤回するためには、提出された議案が本会議の議題となる前は議長の許可が必要となり、議題となった後は議会の承認が必要となる。

令和5年第2回定例会の予定（6月12日～30日）

日	月	火	水	木	金	土
6月11日	12 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	13 一般質問 通告締切	14	15	16	17
18	19 一般質問(代表)	20 一般質問(個人)	21 一般質問(個人) 予算決算委員会	22 総務文教委員会	23 生活福祉委員会	24
25	26 産業建設委員会	27	28	29 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	30 本会議／閉会	7月1日

■(赤字)はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字)はインターネット中継を行います

ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

①鳴門市議会公式ウェブサイトの
「鳴門市議会 ご意見箱」ペー
ジから「入力フォーム」に必要
事項をご入力の上、送信。



②鳴門市役所 本庁舎 1階 総合案内前に設置している
ご意見箱に投函。

*ご意見に対する回答はいたしませんが、個人情報を配慮の上、鳴
門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があり
ます。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

もっと議会を知りたい

【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、イン
ターネット中継と録画配信でご覧
いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ
鳴門でも生放送に加え、録画放送
を行っています。



【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内
の「会議録検索システム」から
ご覧になりたい会議録を検索



《傍聴にお越しください》

～人数制限を解除しました～

令和5年第2回定例会は上記の日程で開催予定です。

本会議、各常任委員会の傍聴に、ぜひお越しください。（詳しくは、3ページをご覧ください。）

・本会議…議場

(受付:東側階段より3階議場入口)

※当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。



(受付:中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

《議会広報委員会》

委員長：上田 公司

副委員長：前田ナツ子

委 員：潮崎 憲司・小西 努・宅川 靖次
橋本 国勝・藤田 茂男・梶 達矢
浜 盛幸

編集後記

議会広報委員会では議会を身近に感じていただくために、今回初めて正副議長や委員が議会広報番組でナビゲーターを努めました。これからも分かりやすく親しみやすい議会広報にしていきますので、お楽しみに！

(委員長：上田公司)

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮し作成しています。